

私の決意

依知川 伸一



晴れて大人の
仲間入り
新成人百八十六名
20歳の決意

人は一度しか生きられない
死んでしまったら終わりだ
この一度しかない人生に
すべてをかけてみたい
一生後悔しないように
思った通りに生きてみたい
失敗などおそれてはいない
今、私は自分の選んだ道に
命をかけている

成人としての決意

斉藤 徹



成人の日……昨日までは人になるための準備期間だったのか。十代から二十代に。そこに画然とした不連続面などないはずだが意識の奥底に変化をもたらす何かにかを感じる大人としての自覚と社会的責任。今決意することは、将来どのような仕事につこうとも、自分の選んだ生き方に自信をもって一生懸命に生きてみようということだ。

* * *

百人が百人
ちがった顔を持っているように
生き方も百人ともちがう

今まで親や回りの方々にたよっていた私も成人の仲間入りです。親がやってくれるから回りの人が助けてくれるからと思いきや甘えていた私も、これからは自

はたちになつて思うこと

青柳 新吾



分のする事すべてに責任を持つて行かなければならないのです。私は将来、畜産を中心にした農業に、あれやこれやと夢見ています。その時は今学んでいる事を生かして、自分なりに工夫し、一生懸命やって行きたいと思えます。しかし、まだ未熟な私です。両親やその道の先輩の方々の助言を参考に、自分のやりたい道を自分なりに考えてやって行きたいと思っています。また、町のいろいろな動物などに積極的に参加し、自分を向上させる一方、地域のために少しでも協力できたらと思っています。まだ成人として何にもわからない私の取り柄は若さという事だけです。一人ではできない事でも仲間同志力を合わせれば何かができると思っています。今いちばん大切な事は、一人前の成人としてはまずかしくないように努力することだと思えます。

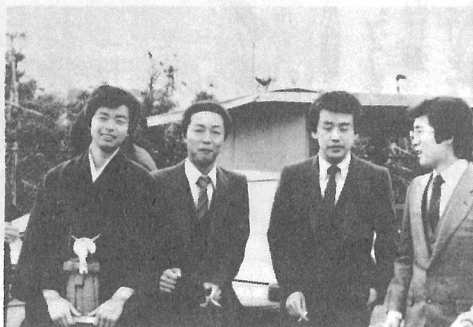


小さいころ上級生がとても大人に見えた。けれど、自分がその上級生と同じ年になると、自分はとても幼なく思えた。今、そのころ同じ気持ちで見ていた、はたちという年を迎えて、大人の仲間入りをしたんだという気持ちは、すこしもわいてこようともしない。酒やたばこも覚え、体も大きくなって表面的にはもうすっかり大人なのかもしれない。けれども、ほくはまだ学生で親のすねをかきりながら生活していて、頭を悩ます事と言えば勉強・ファッションの事くらい。その日一日が楽しければそれで済んでしまう。まだまだ大人の仲間入りなんてとても言える身分ではなさそうだ。去年一年間まわり道して、大学はまだ一年、よけいそう感じるのかもしれない。

成人の日をむかえた今、すぐに大人になれるはずがないけれど、私がまだ幼いころ、はたちの人はとっても大人に見えたものです。しかし、今の小さい子が私を見て、はたして同じように

名ばかりのはたち

佐久間 淑子



ど、はたちという自分を自覚し、社会の悪い流れに流されることのない自分の生き方というものをつつかりと持った人間になつていこうと思う。